

أهداف التنمية المستدامة

(アラビア語で「SDGs」)

みなさん、こんにちは!

インバウンド観光対応の地域おこし協力隊、田川奈美です。

最近色んなところでよく耳にする「SDGs」。丸い形をしたレインボーカラーのバッジを目にしたことがある方も多いのではないのでしょうか?

日本ではなぜか環境問題の分野に焦点が挙げられることが多いようですが、それ以外にも様々な分野での開発目標が掲げられています。



そんなSDGsを切り口として、朝倉市の名所「山田堰」が修学旅行先として注目を浴びています。江戸時代から今なお継続して使われていることに加え、中村哲先生との関連も相まって、教育的要素が多いことが再認識されているようです。



各地から訪れる修学旅行生に、この山田堰の歴史や魅力、学びのポイントを伝えるのは、地元のボランティアガイドの方々です。

昨年から続けているインタープリテーションを学び合う会の活動の一環として、先日修学旅行生受入のお手伝いをさせていただきました。

自分の修学旅行を思い出してみてもそうですが、やはり熱心にガイドさんの

話を聴く生徒さんもいれば、最初から特に興味がない様子の生徒さんもいて、それぞれの反応を観察でき興味深かったです。(笑)

何はともあれ、山田堰で見たこと、聞いたこと、感じたことの何か一つでも、彼らの日常生活を振り返るきっかけになるといいなあと思った次第でした。

住んでいる地元の名所というのは意外と行く機会がないものですが、SDGsの基本は「ジブンゴト」から始めることだと思いますので、この夏は山田堰でSDGsの理解を深められてはいかがでしょうか?